

## 職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名	設置認可年月日	校 長 名	所 在 地			
船橋情報ビジネス専門 学校	昭和56年9月22日	鳥居高之	〒273-0005 船橋市本町7丁目12番16号 (電話) 047-425-1051			
設 置 者 名	設立認可年月日	代 表 者 名	所 在 地			
学校法人三橋学園	昭和41年9月21日	鳥居 勝一	〒273-0005 船橋市本町7丁目12番16号 (電話) 047-425-1051			
目 的	情報システム構築に必要な技術と、ネットワーク、情報インフラ構築に必要な技術を合わせて習得、 社会人として必要な能力の養成、企業に役立つ人材の育成。					
分野	課程名	学 科 名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に 必要な総授業時 数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
工業	工業専 門課程	ITエンジニア科	3年 (昼)	3192単位時間 (又は単位)	平成20年文部大臣 告示第12号	—
教育課程	講義	演習	実験	実習	実技	
	817単位時間 (又は単位)	2375単位時間 (又は単位)	0単位時間 (又は単位)	0単位時間 (又は単位)	0単位時間 (又は単位)	
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
60人	86人	3人	4人	7人		
学期制度	■前期：4月1日から9月30日 ■後期：10月1日から3月31日			成績評価	■成績表 (有) 無 ■成績評価の基準・方法について 定期試験の点数と平常点	
長期休み	■学年始め：4月1日から4月10日 ■夏 季：8月1日から8月31日 ■冬 季：12月20日から1月7日 ■学 年 末：3月20日から3月31日			卒業・進級条件	履修した全科目の合格 欠席時間数が規定の欠席日換算で 55日を超えないこと。	
生徒指導	■クラス担任制 (有) 無 ■長期欠席者への指導等の対応 状況に応じ担任、校長と父兄面接			課外活動	■課外活動の種類 運動部6、文化部2、清掃活動 ■サークル活動 (有) 無	
主な就職先	■主な就職先、業界 情報サービス業、コンピュータ販売 ■就職率※1 100% ■卒業者に占める就職者の割合※2 86.4% ■その他 (任意) (平成26年度卒業者に関する平成27 年4月時点の情報)			主な資格・検定	経済産業省認定基本情報技術者 オラクルマスター ブロンズ CCENT (シスコ認定試験) オラクル認定Javaアソシエイツ オラクル認定Javaプログラマ(Bronz e) UMLモデリング技能認定(レベル1) MCA (Platform)	

<p>中途退学の現状</p>	<p>■中途退学者 4名 ■中退率 5.1%</p> <p>平成 26年 4月 1日在学者 79名 (平成 26年4月入学者を含む)</p> <p>平成 27年 3月 31日在学者 75名 (平成 27年3月卒業生を含む)</p> <p>■中途退学の主な理由</p> <p>経済的に学費が負担できない。進路の変更。勉学に対する意欲の喪失。</p> <p>■中退防止のための取組 クラス担任制による日常の密なコンタクトと生活指導を実施する。状況に応じて (例えば欠席日数等) 担任、校長と父兄面接を行う。</p>
<p>ホームページ</p>	<p>URL: <a href="http://www.chiba-fjb.ac.jp">http://www.chiba-fjb.ac.jp</a></p>

## 1. 教育課程の編成

### (教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

IT 業界の動向や人材ニーズを、IT 企業、システム利用者、地域 IT 業界団体から成る教育課程編成委員会から直接情報を得て把握する。あわせて卒業生の就職先企業からの要望のアンケートも参考とする。また学校の自己評価および学校関係者評価、ならびに全生徒に対し学期末ごとに実施される授業理解度調査からも教育課程への課題を得る。これらを総合してより実践的に情報システム構築を行うシステムエンジニア、プログラマの育成をめざす教育課程の編成を行う。

### (教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成 26 年 9 月 1 日現在

名 前	所 属
武次靖雄	公益社団法人千葉県情報サービス産業協会、副会長
水上明美	株式会社 ベイキューブシー 代表取締役
西村由美	船橋商工会議所、専務理事
増渕賢一郎	アドビシステムズ株式会社、部長
岡川博一	株式会社ブリंगा、取締役
藤井洋一	日本ナレッジ株式会社 代表取締役
鶴巻祐士	船橋グランドホテル株式会社、支配人
山崎健太郎	株式会社 my ふなばし、代表取締役
鳥居高之	船橋情報ビジネス専門学校 校長
杉山 剛	船橋情報ビジネス専門学校 教務部長
森田秀明	船橋情報ビジネス専門学校 IT 系学科統括部長

### (開催日時)

第 1 回 平成 27 年 10 月 26 日 13 : 00～15 : 00

第 2 回 平成 27 年 12 月実施予定

## 2. 主な実習・演習等

### (実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

企業等と連携する演習においては連携先企業等の担当者を定め、実習の計画時、実施中、評価のそれぞれのフェーズにおいて科目担当の本校所属教員への助言等の連携を密に行う。評価においては連携の結果を生徒にフィードバックする。また実習を実践的なものにするために必要に応じて適宜実習の場にも企業等の担当者が参加する。なお実習の企業と連携した計画は職員会議にて報告し承認を受ける。実施時の連携状況・連携結果についても適宜職員会議にて報告し指示を受ける。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
Oracle 演習 I	オラクル・アカデミック・イニシヤティブ提携のもと、データベースの操作に使用する SQL 言語の使用方法を学びます	日本オラクル株式会社
Oracle 演習 II	オラクル・アカデミック・イニシヤティブ提携のもと、リレーショナルデータベースの概念、データベース管理 (DBA) について学びます	日本オラクル株式会社
シスコネットワークキング演習	シスコネットワークキングアカデミーのカリキュラムをベースに、CCENT の試験対策を行います。	シスコシステムズ合同会社 Training Center Japan
情報セキュリティ	セキュリティ技術教育及び技術認定団体である SEA/J と提携。安全な IT の利用、情報を扱う上でのモラルを学びます。	SEA/J (Security Education Alliance / Japan)
やってみなはれ演習 II	経済産業省が提唱する社会人基礎力を学校行事 (特に学園祭) の運営により養う。自らの企画を動画とプレゼンし連携企業に評価を受ける。	株式会社ルート 14 株式会社ブリंगा 雷鳥 株式会社進学教育研究社

やってみなはれ演習 応用Ⅱ	経済産業省が提唱する社会人基礎力を学校行事 (特に学園祭)の運営により養う。自らの企画を 動画とプレゼンし連携企業に評価を受ける。	株式会社ルート14 株式会社ブリंगा 雷鳥 株式会社進学教育研究社
------------------	---	---

### 3. 教員の研修等

#### (教員の研修等の基本方針)

教員研修規程に従い教員は年度研修計画通り知識技術教育・授業及び生徒に対する指導力の研修を受ける。研修計画は教務主任と教務部長が教育課程編成委員会等から得た業界動向と、各教員の能力、担当業務、昇格等を基に計画する。知識技術教育は情報システム構築に関し、その分野に知見のある企業等と連携する。指導力の研修も十分な知見をもつ企業等と連携する。研修の実施は企業等の主催又は講師派遣を受ける。

### 4. 学校関係者評価

#### (学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成26年9月1日現在

名 前	所 属
武次靖雄	公益社団法人千葉県情報サービス産業協会、副会長
水上明美	株式会社 ベイキューブシー 代表取締役
西村由美	船橋商工会議所、専務理事
増瀏覽一郎	アドビシステムズ株式会社、部長
岡川博一	株式会社ブリंगा、取締役
藤井洋一	日本ナレッジ株式会社 代表取締役
鶴巻祐士	船橋グランドホテル株式会社、支配人
山崎健太朗	株式会社 my ふなばし、代表取締役

#### (学校関係者評価結果の公表方法) ホームページ

URL: <http://www.chiba-fjb.ac.jp/www/unei.html>

### 5. 情報提供

#### (情報提供の方法) ホームページ

URL: <http://www.chiba-fjb.ac.jp>

授業科目等の概要

(工業専門課程 IT エンジニア科) 平成27年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			ハードウェア	コンピュータを構成する様々な装置について、その役割りと特徴を学びます	1前	19		○	△	
○			ソフトウェア	コンピュータ内の情報表現方法・動作手順、2進数、OSの機能、ソフトウェアの種類について学びます	1前	19		○	△	
○			データベース	データ管理方法、データベースソフトの機能、データベースの構築方法や操作方法について学びます	1前	38		○	△	
○			Oracle データベース設計	業務を分析し、適切なデータベースを設計・構築する方法を学びます	1後	38			○	
○			システム設計	システム開発の流れと手法について学びます	1前	38		○	△	
○			ネットワークとセキュリティ	複数のコンピュータを接続する仕組みやデータ伝送の手順、情報セキュリティについて学びます	1前	38		○	△	
○			情報セキュリティ	セキュリティ技術教育及び技術認定団体である SEA/J と提携。安全な IT の利用、情報を扱う上でのモラルを学びます	1後	76		△	○	
○			ストラテジとマネジメント	経営戦略、関連法規、財務会計、システム開発行程の見積り、日程・進捗管理、リスク・サービス管理について学びます	1前	19		○	△	
○			アルゴリズムとデータ構造 I	プログラムの処理手順、プログラムが扱うデータ形式について学びます	1前	76		△	○	
合計				科目	単位時間 ( 単位)					

授業科目等の概要

(工業専門課程 IT エンジニア科) 平成27年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			アルゴリズムとデータ構造Ⅱ	プログラムの処理手順、プログラムが扱うデータ形式について学びます	1後	38		△	○	
○			Java 言語演習Ⅰ	変数・式・演算子・分岐・繰り返し等、プログラミングの基礎を学びます	1前	38			○	△
○			Java 言語演習Ⅱ	クラス・メソッド・コンストラクタ・オーバーロード・カプセル化・継承・抽象クラスについて学びます	1後	76			○	△
○			アセンブラ	基本情報技術者試験の選択言語として、プログラムの書き方を学びます	1前	57		△	○	
○			国家試験対策	基本情報技術者試験、ITパスポート試験の対策を通じ、IT関連の基礎を学びます	1後	76			○	
○			検定対策Ⅰ	基本情報技術者試験(午前)、情報検定活用試験、MOS Excel などの対策を行います	1前	38			○	
○			検定対策Ⅱ	基本情報技術者試験(午後)、情報検定システム試験などの対策を行います	1後	38			○	
○			検定対策応用Ⅰ	ネットワークとデータベースの授業も行い、見極め問題を行い、不足している知識を補い、ベンダー試験へと向かいます。	2前	76			○	
○			検定対策応用Ⅱ	ネットワークとデータベースの授業も行い、見極め問題を行い、不足している知識を補い、ベンダー試験へと向かいます。	2後	38			○	
合計				科目	単位時間 ( 単位)					

授業科目等の概要

(工業専門課程 IT エンジニア科) 平成27年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			検定対策発展Ⅰ	未取得である資格試験の対策を行います	3前	76			○	
○			検定対策発展Ⅱ	未取得である資格試験の対策を行います	3後	38			○	
○			Office 演習Ⅰ	MOS Excel の取得対策、Excel・Word の基本的な利活用技術を学びます	1前	76			○	△
○			Office 演習Ⅱ	Excel、Word、PowerPoint の基本を習得し、見栄えのよい書類の作成方法を学びます ※配当年次の都合で2年前期に同名の科目あり	1後	76			○	△
○			Office 応用演習Ⅱ	Power Point の基本的な利活用技術と、実務で使える Word の機能を学びます ※配当年次の都合で1年後期に同名の科目あり	2前	38			○	△
○			Office 応用演習Ⅲ	Excel VBA の基本を習得し、実務で見栄えの良い書類を作成できるよう学びます	2後	38			○	△
○			シスコネットワークワーキング演習	シスコネットワークワーキングアカデミーのカリキュラムをベースに、CCENT の試験対策を行います	2前	76		△	○	△
○			オブジェクト指向プログラミング演習	Java 言語を用いた実践的なプログラミングを行う。データベースを利用したGUI の Java アプリケーションを作成する	2前	114			○	△
○			システム開発演習	JSP、サーブレットと Java で Web アプリケーションの開発を行います プログラミングだけでなく、ドキュメント（設計書）作成や進捗管理も行う	2後	152			○	△
合計				科目	単位時間 ( 単位)					

授業科目等の概要

(工業専門課程 IT エンジニア科) 平成27年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			Oracle 演習 I	オラクル・アカデミック・イニシャティブ提携のもと、データベースの操作に使用する SQL 言語の使用方法を学びます	2 前	38		○	△	
○			Oracle 演習 II	オラクル・アカデミック・イニシャティブ提携のもと、リレーショナルデータベースの概念、データベース管理 (DBA) について学びます	2 後	38		○	△	
○			Web 技術演習	Web ページ作成の基礎である、HTML や CSS について学びます	2 前	76		○	△	
○			UML 基礎	オブジェクト指向開発における設計書の書き方を学びます	2 前	38	○		△	
○			オブジェクト指向設計	J ポリモフィズム、コレクションクラス、DB アクセス、サーブレット、JSP について学びます	2 後	38		○	△	
○			Linux サーバ構築 I	Linux を利用して、サーバ構築を行う	2 後	76		○		
○			問題解決技法	「問題解決技法」の基礎を学び、ユーザーとの打ち合わせを創造的にまとめるトレーニングをします。	2 前	38	△	○		
○			テスト技法	テスト技法の基礎を学びます。	2 後	38		○	△	
○			卒業研究	グループでシステムの開発に取り組み、人とともに働くうえで必要なことを学びます ※配当年次の都合で2年次後期に同名の科目あり	3 後	190		○	△	
○			Web アプリ作成演習	JSP・サーブレット・HTML5 などを使ったアプリケーション開発技法について学びます	3 前	76		○	△	
○			応用ネットワーク	1年次に学んだネットワークの知識をベースに高度な技術について学びます		76	○			
合計					62 科目	3192 単位時間 (		単位)		



授業科目等の概要

(工業専門課程 IT エンジニア科) 平成27年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			新技術動向 I	最新の業界・技術動向に着目しつつ、その技術要素や技術発展の流れを学ぶ	3前	38		○		
○			新技術動向 II	最新の業界・技術動向に着目しつつ、その技術要素や技術発展の流れを学ぶ	3後	38		○		
○			Androidアプリ作成演習	仕組み、リソースファイル、アクティビティ、ユーザーインターフェースについて学びます	3前	38			○	△
○			プロジェクトマネジメント I	プロジェクト管理の基礎を学びます	3前	38		○		
○			プロジェクトマネジメント II	プロジェクト管理の技法を用いて卒業研究の進捗管理を行います	3後	38			○	
○			DBシステム構築 I / LPIC 対策 I	DB システム構築か LPIC 対策のいずれかを選択する必修選択とする	3前	38			○	△
○			DBシステム構築 II / LPIC 対策 II	DB システム構築か LPIC 対策のいずれかを選択する必修選択とする	3後	38			○	△
○			情報特論	社会に出て直面する種々の問題について、その本質と解決について考えます	3後	38		○		
○			自己啓発 I	多くの人とかかわりながら自分で自分を育てる大切さを学びます	1前	38		○	△	
○			自己啓発 II	「プロとは何か」「人として」をテーマに、マイオピニオンを確立します	1後	38		○		
合計					科目	単位時間 ( 単位)				

授業科目等の概要

(工業専門課程 IT エンジニア科) 平成27年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			就職講座 A	就職活動の概要を理解し、自己分析・企業研究ができる力をつけます。	2後	38		○		
○			就職講座 A 応用	実際の就職活動例を紹介するので、教訓を考えます。	3前	38		○	△	
○			ビジネス実務	ビジネス能力検定3級の試験対策を通じ、新入社員として必要不可欠な基礎を学びます	1後	38		○		
○			就職講座 B I	就職活動をするにあたって、必要な知識を学ぶ	2前	38		○		
○			就職講座 B II	就職活動をするにあたって、必要な知識を学ぶ	2後	38		○	△	
○			ビジネス文書	実務に役立つ文書作成に必要な知識と技能について学びます	3前	38		○		
○			プレゼンテーション	卒業研究に関するテーマを設定し説明する資料を PowerPoint でグループで作成しプレゼンテーションします	3後	76			○	
○			企業人研究 I	時事に応じた内容をテーマに企業人に必要な視点を考えます	3前	38		○	△	
○			企業人研究 II	時事に応じた内容をテーマに企業人としての在り方を考えます	3後	38		○		
○			やってみなはれ演習 I	経済産業省が提唱する社会人基礎力を、様々な学校行事（特に学園祭）の運営により養います	1前	38		△	○	△
合計				科目	単位時間 ( 単位)					

授業科目等の概要

(工業専門課程 IT エンジニア科) 平成27年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			やってみなはれ演習Ⅱ	経済産業省が提唱する社会人基礎力を、様々な学校行事（特に学園祭）の運営により養います	1後	38		△	○	△
○			やってみなはれ演習応用Ⅰ	経済産業省が提唱する社会人基礎力を、様々な学校行事（特に学園祭）の運営により養います	2前	38		△	○	△
○			やってみなはれ演習応用Ⅱ	経済産業省が提唱する社会人基礎力を、様々な学校行事（特に学園祭）の運営により養います	2後	38		△	○	△
○			社会人基礎力演習Ⅰ	経済産業省が提唱する社会人基礎力を、様々な学校行事（特に学園祭）の運営により養います	3前	38		△	○	△
○			社会人基礎力演習Ⅱ	経済産業省が提唱する社会人基礎力を、様々な学校行事（特に学園祭）の運営により養います	3後	38		△	○	△
合計				63科目	3192 単位時間 (			単位)		